

銚子スポーツタウンコラム (1)

# 銚子スポーツタウンと私

木樽 正明

故郷・銚子への思い、銚子スポーツタウンとの出会い、そしてこれから。木樽正明アドバイザーによる新連載の第1回です。

## ご挨拶と帰郷の思い

銚子スポーツタウンを愛する皆様へご挨拶申し上げます。私は銚子スポーツタウンのアドバイザーを務めている木樽正明と申します。（経歴参照）私は故郷銚子に生まれ育ち、こよなく故郷を愛する一人です。銚子商業高校を卒業しプロ野球に挑戦して、14年前に50年ぶりに夫婦で帰郷しました。プロ野球ではロッテの選手、1・2軍の投手コーチ、2軍監督、スカウト部長、そして、巨人軍の編成部とプロ野球界に長い間身を置き、社会人野球のJFE東日本のヘッドコーチを終えた時、ふるさと銚子に何かしら貢献したい思いで帰って来たのです。そして、私が銚子市行政アドバイザー就任中に、銚子スポーツタウンの小倉和俊社長と初めての出会いでした。

## 銚子スポーツタウンとの出会い

小倉さんは既に廃校になっていた銚子市立西高を利用したスポーツタウンの構想を胸に、私のアドバイスを求める為に一緒に視察に出掛けたのです。廃校になってすでに7年が経過していた校舎、体育館、校庭などは廃墟そのもので、厳しい状況なのは誰が見ても一目瞭然でした。体育館に入ると青空があちこちに見られ、雨漏りで床はめくりあがりキノコが生えている始末。かつて西高が甲子園出場した野球場は雑草などで荒れ、防球ネットは破れ放題で悲惨な状況でした。

## 小倉社長の決断力と実行力

---

しかし、小倉和俊さんの目は輝き、構想が次々と胸に湧き出て来たのでしょうか。この状況から宿泊施設建設、体育館改修、食堂棟建設、野球場整備、そして、第2球場まで作り上げた決断力、実行力は私だけでなく、多くの支援者も驚くばかりで、信念とアイデアも目を見張るものがあります。あの、コロナ禍の数年間でも決して泣き言一つ言わず、じっと耐えていた姿を見ているだけに、18歳も年下とも思えない素晴らしい人物で私の尊敬する一人です。

## スポーツの発信地として

---

銚子スポーツタウンは今や銚子市、東総地区、そして、茨城県神栖市のスポーツの発信地となっています。ふるさと銚子を愛し、野球を始めとしてスポーツを愛するお互いの気持ちが一致して、銚子スポーツタウン設立当時から共に歩んで来ました。私は体が動く限り、銚子スポーツタウンをライフワークとして、陰ながら支え続けて行きたいと思っています。

## 今後のコラムについて

---

今後、このコラムは月2度ほどの割合で寄稿したいと思っています。プロ野球での経験、体験した事や人脈等のエピソードなど、楽しく面白い話題を掲載したいと思いますので、どうぞ楽しみにしてください。今後共、銚子スポーツタウン共々よろしく申し上げます。



昭和 22 年 6 月 13 日、千葉県銚子市生まれ。千葉県立銚子商業高校卒。

高校 1 年時と 3 年時に全国高等学校野球選手権大会に出場する。3 年時は準優勝を成し遂げる。

高校卒業後、ドラフト 2 位で東京オリオンズ（現千葉ロッテマリーンズ）に入団し、最優秀防御率賞を 1 回、最優秀選手賞を 1 回、ベストナイン賞を 1 回、最多勝利投手賞を 1 回受賞する。

引退後はロッテの 2 軍投手コーチ、1 軍投手コーチ、2 軍監督、スカウト部長を務める。読売ジャイアンツの編成調査室に籍を移し、2 度の日本一、4 度のリーグ優勝に貢献する。

その後、社会人野球の JFE 東日本硬式野球部のヘッドコーチを務める。

平成 26 年、ふるさと銚子に帰り、母校銚子商業高校野球部のコーチを務める。平成 26 年 9 月～令和 2 年 3 月まで銚子市政アドバイザーとして活動する。現在、木樽ドリームズ監督兼選手、小中学生やリトル、シニアの野球チームの指導にあたる。

プロ通算 112 勝 80 敗 勝率.583

《タイトル》最多勝利投手賞：1 回(1971 年)

最優秀防御率投手賞：1 回（1969 年）

《表彰》最優秀選手賞：1 回（1970 年）

ベストナイン賞：1 回（1970 年）

《記録》オールスターゲーム出場：5 回（1969 年 - 1971 年、1973 年、1974 年）